

道路橋梁などの災害復旧費1億356万円を専決処分 7月末の大雨、合併前上越市、板倉区などで大きな被害

村山上越市長は4日、7月26日から27日にかけての大雨で発生した道路や農業用施設などの被害箇所について、復旧対応に必要な経費を盛り込んだ今年度の市の一般会計補正予算を専決処分しました。

市長が専決処分した予算額は1億356万8000円。五智地区周辺にした道路及び公園での法面崩壊や農地、農業用施設、林道などの災害復旧に要する調査設計費、工事請負費などが含まれています。

歳出で最も大きな額となったのは道路橋梁災害復旧費で4790万円、次いで、農地、農業用施設災害復旧費が3415万円、河川災害復旧費が1500万円、林業用施設災害復旧費が480万円となっています。

地区別に見ると、合併前上越市の地域が43件、8601万円と圧倒的に多いです。次いで板倉区が10件、560万円、三和区が6件、450万円、名立区が3件、320万円と続きます。全体の件数は72件にもなりません。被害箇所はいずれも早期に復旧が望まれるも

のばかりです。1日も早く復旧してほしいものです。

タブレット端末を利用した模擬委員会実施される

10日午前、上越市議会ではタブレット端末を利用した模擬委員会が行われました。

基本的な操作を教えた後、予算書や常任委員会資料などを画面に出して模擬質疑をやりましたが、慣れるまでたいへんです。この模擬委員会では行政資料だけでなく、委員が用意した資料もタブレットを使って活用し、質問できることなどがわかりました。慣れれば、これまでよりも質問しやすくなりそうです。もつとも、委員会の民主的な運営が前提の話ですが。

今回の模擬委員会に参加した議員からは、「これを使って正規の委員会をやるにはまだ時間が必要ではないか」「パソコンに集中するの



写真は上が五智公園、下は国府の地すべり現場



未来への希望感じる祭り

14日、牧区泉で行われた「棚田の稲ほたる祭」に参加してきました。田んぼのあちこちに「稲ほたる」が灯るなか、広域農道沿いの広場ではソロ女性シンガー、蘭燃（らんねん）のコンサートが行われました。小さな集落が取り組むこのイベントには区内外から大勢の人がボランティアとして駆け付けました。

稲ほたる祭りには、200人を超える人たち（もっとかも）がつどい、楽しみました。町内会長さんの「一生懸命やっていると助けてくんなる」という言葉が強く印象に残りました。蘭燃の歌った歌の歌詞、「明日に続く道、いま、ここからはじまる」もこのイベントにぴたりの言葉でした。若者の参加もあり、未来への希望を感じたイベントでしたね。



【オトコエシ】オミナエシ科の多年草。漢字で「男郎花」と書くらしいです。オミナエシを女郎花と書くのに対比させたようです。花は白色で、いまあちこちの道端で咲いています。3日、安塚区のスキー場にて撮影。



いで、審査に活用は難しいなどの声が出ていました。実際にタブレットが導入されるかどうかはもう少し議論が必要そうです。写真は模擬委員会に取り組みのメンバーです。

はしづめ法一の活動レポート

No.1770 2016.8.21
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

 橋爪法一 検索